

令和8年度 年間指導計画

A科:生物科学科

教科名	農業	科目名	地域資源活用	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者	使用教材			地域資源活用(実教)			
学習目標	<p>○地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>○地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>○地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の進行や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>○農林業・農山村の特色や地域資源の有用性について、農山村と都市の取組と課題を調べる。</p> <p>○農林業・農山村の特色を活かした生活体験を提供する活動などを体験する。</p> <p>○地域振興の担い手として、地域と連携し、地域資源を活用したグリーンツーリズムや商品開発、市民農園運営などの実践を行う。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	学習を通して、農林業・農山村の実態や地域社会の在り方、そこで新たな仕事を産み出す起業活動などに関連する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	体験活動から社会的起業家の事例を通して、地域資源を活用した地域の振興について、環境への配慮や法令遵守などの職業人としての倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力が養われている。				
態	主体的に取り組む態度	地域資源に関する新たな価値の創造などに主体的かつ協動的に取り組む態度が養われている。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第1章 地域資源活用とは 1) 地域資源とその活用 2) 地域資源活用とプロジェクト学習	① 移り変わる農山村へのまなざし ② 地域資源と地域資源活用とは ① プロジェクト学習とは ② 科目におけるプロジェクト学習の進め方 ③ 地域資源活用におけるプロジェクト学習のPDCA	○	○	○	【知】地域資源活用及び農山村社会の変化と地域振興について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源活用及び農山村社会の変化と地域振興に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・ 考査 ・ プリント ・ 授業態度 ・ 課題
	第2章 農山村社会の変化と地域振興 1) 農山村と都市の現状と変化	① 農山村・都市の連携とSDGs ② 農業・農村の多面的機能と地域活性化	○	○	○	【態】地域資源活用及び農山村社会の変化と地域振興について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	
前期末	第3章 地域資源活用の意義と役割 1) 地域資源の魅力と価値 2) 地域振興に向けた対策と取組	① 地域資源の魅力 ② 地域資源の発見・保全とその活用 ③ 農村景観、文化と人 ① 農山村における方策	○	○	○	【知】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・ 考査 ・ プリント ・ 授業態度 ・ 課題
	第4章 地域資源の価値と活用 1) 地域資源の見つけ方と活用 2) 観光への活用	① 地域資源の発見・活用・評価のサイクル ① 都市と農山村の共生・対流 ② 景観を生かしたツーリズム	○	○	○	【態】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	

後期中間	第4章 地域資源の価値と活用 3) 商品開発への活用	① 商品開発とは ② 商品開発の実施	○	○	○	【知】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・ 考査 ・ プリント ・ 授業態度 ・ 課題
	第3章 地域資源活用の意義と役割 3) 異業種連携と商品価値の創造 4) 地域資源活用の実践と課題	① 異業種連携と起業 ② 異業種連携による新たな価値の創造 ① 地域活性化の核となる人物	○	○	○	【態】地域資源活用の役割と意義及び価値と活用について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	
後期末	第4章 地域資源の価値と活用 4) 教育・福祉への活用	① 教育への活用 ② 福祉への活用	○	○	○	【知】地域資源の価値と活用及び地域との連携について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思】地域資源の価値と活用及び地域との連携に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・ 考査 ・ プリント ・ 授業態度 ・ 課題
	第5章 地域と連携した活動 1) 農業のユニバーサルデザイン化	① 農業のユニバーサルデザイン化 ② 作業の標準化 ③ 3S活動	○	○	○	【態】地域資源の価値と活用及び地域との連携について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	